

公立高等学校配置計画に対する
(平成26年度～平成28年度)

要 望 書

平成25年8月6日

夕張市高等学校対策委員会

北海道教育委員会

教育長 立 川 宏 様

本市教育の振興につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成24年12月に「夕張市高等学校対策委員会」を発足させ、地元中学校の減少に伴う、夕張高等学校の今後の在り方について、この間4回検討協議を進めてきているところでありますが、去る6月4日、北海道教育委員会が示した「公立高等学校配置計画案(平成26年度～平成28年度)」によれば、平成26年度以降、北海道夕張高等学校の入学生募集は1学級とのことであり、平成25年度、平成26年度の地元中学生の数からして、大変厳しい計画案と言わざるを得ません。

つきましては、右に掲げます諸事項について、特段のご配慮を賜りたく要望いたします。

- 1 平成26年度、平成27年度の入学生募集を2学級としていただきたい。とりわけ、平成27年度については卒業予定者が60名を超えることが想定されることから、特段のご配慮をいただきたい。

- 2 学級規模の減少からくる教職員数、配置について、生徒の学習に支障が生じないように加配措置等を講じていただきたい。

- 3 今後の北海道夕張高等学校の在り方については、引き続き検討を行うことから、十分な地元との意思疎通、連携を図っていただきたい。

平成25年8月6日

夕張市高等学校対策委員会

委員長 小林 信 男